日 時 令和6年12月19日(木) 18時30分 ~ 19時30分
場 所 広船地区構造改善センター
対象地区 広船
参加人数 11名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○りんごの付加価値 (市民から)</p> <p>長野県では品質の良くないりんごをシードルとして付加価値を付けて販売している。弘前でも、多くの会社がシードル製造に取り組んでいる。これはシードル特区(構造改革特別区域法による酒税法の特例措置)のようなものを作って実施していると聞いた。平川市でも環境整備ができないか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・六次産業化で、りんご加工場を作ってジュースにするが販路に困った歴史もある。・市では産業基本構想において、販路の確保も踏まえて検討している。・シードルに関しては弘前での飲み比べ等で弘前が一步進んでいるところもある。・平川市が品質のよい生果を生産しているのに対し、弘前市は加工用のりんごも多い。・基本構想の中で、いかに高く売っていけるかを模索している。今まで一人で六次産業化を進めていた事業者が多いが、それぞれが分担して付加を付けて国内外に売る方法を考えている。・令和7年度より、具体的な形作りが行われる。今後何らかの形で示していきたい。
<p>○学校給食におけるアレルギー対応について (市民から)</p> <p>保育園等の給食ではアレルギーに配慮した給食が提供されているが、小中学校の給食では、アレルギーがある場合、自分で弁当をもって行かなければならないと聞いた。小中学校の給食でも、アレルギーに対応した給食を提供して欲しい。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・アレルギーについては各学校において対応しているところであるが、アレルギーに対応した給食を提供しているかどうかは担当課に確認の上回答する。
<p>○農業集落排水について (市民から)</p> <p>農業集落排水からの匂いがひどい時がある。広船観光りんご園に来園された方が楽し</p>

まれているときに匂い始めると、大変申し訳ない気持ちになる。どうにかならないか。

(市から)

- ・農業集落排水の匂いの問題は他にもあり対応を行っているので、同様に対応したい。
- ・施設の老朽化や機械が更新されていないことにより、汚泥の汲み取り時に匂いが生じていると考えられる。川に放水したときに匂う場合は、上下水道課に連絡して欲しい。

○のらっさについて

(市民から)

3台で運用しているが、台数は足りているのか。また、広船地区で利用者はいるのか。

(市から)

- ・12月19日までで19日間運行している。年金の支給日に想定の2倍以上の需要があり、台数が足りなかったが、その他の日では台数が足りないといったことはない。
- ・18日までの実績であるが、広船十文字の停留所から19件の予約で22人が利用した。

○空き家対策について

(市民から)

現状の空き家対策について聞きたい。

(市から)

- ・今年度分は集計中であるが、R5の数値では平川市内に400件ある。
- ・対策については、法に基づいて所有者に連絡をしているがすぐには対応できない。
- ・市では解体する場合に最大50万円を補助している。利用して解体するか、空き家バンクを利用してもらうことになる。
- ・広船は8件空き家があり、その内1件は解体された。

(市民から)

山下32-4の空き家について、前も相談したが一切動きがないが、その後どうか。

(市から)

- ・所有者がいない空き家である。
- ・利害関係人が手続きをして解体する手段があるが、煩雑で手間がかかっていた。しかし、制度改正により比較的簡易にできるようになった。制度改正によって案内できることも変わるので都度ご相談してもらいたい。
- ・行政で解体できればいいが、税金を使って実施することができない。

(市民から)

特定空家関係で変更はあるか。

(市から)

- ・以前は全財産の調査が必要であったが、建物の調査だけで実施できるようになった。
- ・行政が所有者に粘り強く交渉していく。
- ・参考までに、補助を使って 55 件解体している。
- ・空き家に動物が巣くったり、アメリカシロヒトリが増殖したりしている。アメリカシロヒトリについては市で散布機を貸出することしかできない。
- ・日本全体の問題であるが、空き家については検討していきたい。
- ・所有者に連絡がつかない場合、自宅の敷地に入ってきた枝について、連絡をしなくても対応できるようになった。
- ・隣家の空き家に困っている人が対応しやすいように制度が変わっていつている。

○町会の一斉清掃について

(市民から)

町会の一斉清掃時に使用する石灰について、市の業者の選定が間に合わず、石灰の提供を受けることができない。

(市から)

- ・町会の一斉清掃時に石灰が間に合わないというのは考えられない。間に合うように指示を行う。